

令和 3 年度 事業報告書  
(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 3 1 日まで)

1 法人の概要

名称 学校法人 松江幼稚園 (昭和 5 6 年 4 月 1 日法人設立)  
 理事長 額田 光昌  
 住所 和歌山市松江中 3 丁目 1 番 3 5 号  
 電話 0 7 3 - 4 5 3 - 0 0 5 0 FAX 0 7 3 - 4 5 3 - 0 0 9 9  
 設置校 まつえ幼稚園 (昭和 2 4 年 1 0 月 1 日創立)  
 役員 理事 1 2 名、監事 2 名 評議員 2 5 名  
 理事会 4 回開催 評議員会 3 回開催  
 職員数 園長 1 名  
 教頭 1 名  
 主幹保育教諭 2 名  
 学年主任 3 名 教諭 2 1 名 (内準正職 6 名) \* 育休 1 名  
 パート教諭 1 7 名 添乗員 4 名  
 事務長 1 名  
 事務員 4 名  
 委託職員 運転手 4 名 調理員 6 名 用務員 2 人

2 事業の概要

(1) 教育方針

本園は、子ども一人ひとりを見つめ、発達段階に応じて、子どもの主体的な活動を促し、自発的な遊び活動を通して、知・徳・体の調和のとれた保育により、生きる力を身につけた子どもの育成をめざします。

(2) 事業内容

- ① 教育事業 1 号認定 (年長・中・少・満 3 歳) 教育時間 9:00~15:00
- ② 保育事業 2 号認定 (年長・中・少) } 保育時間 7:30~18:30 (標準)
- 3 号認定 (1 歳児・2 歳児) } 8:00~16:00 (短時間)
- ③ 預かり保育・延長保育
  - 1 号
    - 早朝 7:30~ 8:40
    - 保育終了後 15:00~17:30
    - 延長 17:30~18:30
  - 2・3 号 (短時間)
    - 早朝 7:30~ 8:00
    - 延長 16:00~18:30

(3) 事業報告》

令和 2 年度から幼保連携型認定こども園となり、2 年目を迎えました。

今までと同じ子ども主体の教育方針は変わらず、かつ幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持ったことで、より保護者の要望に応えられる教育環境になったのではないかと感じています。

又、新型コロナウイルス感染症の影響は 2 年以上にも及び感染予防に配慮しながらも充実した行事を開催してきました。今でも朝から机、階段手すり、トイレ、バス等の消毒を欠かせません。

まだまだ先の見通せない日々が続いています。こんな環境の中でも子ども達は心身共に健やかに育ててほしいと願っています。

(4) 在園児数

令和 4 年度定員及び在園児数

	定 員 (人)		在 園 (人)	
	1 号	2・3 号	園児数	クラス数(クラス)
年 長	1 0 0	2 0	1 0 5	4
年 中	1 0 0	2 0	1 0 6	4
年 少	1 0 0	2 0	9 7	3

満3歳児	20		20	2
2歳児		16	16	1
1歳児		12	12	1
0歳児		6	3	1

R5.3.  
1 現在

(5) 保育の計画性・保育の在り方

しつけの3大原則「挨拶をする」「履物をそろえる」「ハイとはっきり返事」が大切だと考えています。子どもたちが、いろいろな行事・遊び・生活体験を積み重ね生涯にわたる人間形成の基礎を培い、自立し、他者と協働しながら、創造的に生きていくために必要な能力が身につくよう指導と援助を行い保育しています。

(6) 教員の資質向上

幼児に寄り添う人的環境として、良質な教諭が安定して長期に関われる体制を作ることが重要である。そのため自己の教育のあり方について毎学期自己評価を行い、日々研鑽して質の向上を図っている。また、様々な研修を行い5領域に分けて研究し、毎学期発表している。

5領域の各部会の研究テーマ		
	領域名	研究テーマ
1	健康	子ども達の体幹を鍛えることで、バランス感覚や運動遊びの様子がどう変化していくかを追う。(日常生活にどう影響していくのか)
2	人間関係	友達との交流を通して、友だちや保育者と一緒にしたい、挑戦したいという子どもの気持ちの変化(成長)が見られるかを追う
3	環境	生活の中で数量や図形、標識、文字などに興味を持てるような環境を与えることで子どもたちが自ら気付いたり、考える力がどのように育っていくのかを追う
4	言葉	保育者や友だちの関わりの中で、生活に必要な言葉や自分の気持ちを言葉で表現し伝える力がどのように育っていくのかを追う
5	表現	素材に出会った子ども達が気付いたり感じたりしたことをどのように表現し、遊びに取り入れていくかを追う

(7) 地域との連携

幼稚園や家庭を包む地域は、子どもが異なる世代の人々と交流し、様々な体験や遊びを通して協調性や生活の知恵を学ぶことにより、社会性や豊かな人間性を育む場として大きな影響力を持っています。幼稚園、家庭、地域が連携協力しながら地域社会全体で子どもの育ちを支えていく必要があります。しかし2、3年度はコロナ禍のため、高齢者・地域との交流をすることができませんでした。

- ・小学生との交流…1年生との交流で緩衝緑地公園に行きました。どんぐり、まつぼっくりひろいをしていうちに緊張していたが徐々に子ども同士打ち解けてきました。
- ・地域との交流…幼稚園として積極的に参画し、社会教育との連携を深める。  
昨年度に続き独居高齢者のふれあい会やまつえ地区夏まつり、事前音楽会、地域の方と一緒に  
なっていく避難訓練等、すべて中止となり残念です。  
地域の方々のご協力とシルバー人材センターからの派遣の方とでさつまいも、大根を植えて  
いただきました。いつも立派なさつまいもや大根が出来、子ども達も大喜びで収穫しました。

(8) 安全管理

- ・地震、火事等の避難訓練(予告あり、予告なし)を計画的に実施するとともに、日頃からバスからの避難訓練、早朝預かり保育や保育後の預かり保育での避難訓練、引き渡し訓練を実施し、災害時には教職員の指示を聞き適切な行動が素早くとれるよう様々なパターンで避難訓練を実施している。
- ・AEDもいざという時に誰でも使用できるように使い方の勉強をしています。
- ・教員やバス添乗員も非常ブザーを腰に携帯していて月1回電池切れしていないか点検しています。
- ・犯罪から子どもたちや職員等の命を守るため、ボタンを押すだけで警察へ通報出来る「110番直結非常通報装置」を設置している。又、さすまたの使い方等の訓練、職員が不審者になり子ども達との対応訓練。
- ・園の施設・設備・遊具等の安全点検を週番が毎日確認し、改善している。
- ・砂場も月1回消毒している。
- ・アレルギー疾患の理解とアレルギー疾患のある子どもを把握し、特に食物アレルギーのある子どもには保護者に詳しい情報の提出を求め、教職員で把握できるようにしている。

- ・学校薬剤師を配置し、一般的な環境衛生に関する指導、騒音や照明の明るさの検査、医療品の管理、教室の空気、水泳用プール、飲料水、給食施設の水質や食器の洗浄や保存食用冷蔵庫の温度などの検査をする。園児の快適な幼稚園環境をつくるために、指導助言をいただいている。
- ・給食施設についても、衛生面に気をつけてもらい、専門業者に点検を依頼している。

(9)その他

- ・特別支援教育…特別な支援を要する子どもにその特性を踏まえた十分な幼児教育を受けられるよう配慮して、担任だけでなく、全職員が支援する体制を整えて取り組んでいる。学年が変わっても支援を継続していく子どもの引継ぎは必要です。各クラスには何人かの気になる子がいますがみんながその友達に対する関わりの中かで思いやりの心をはぐくみます。
- ・研修…体育、音楽、習字を講師に指導してもらっています。  
 「幼・小連携接続推進のためのオンライン研修」  
 松江小、木本小と1年生児童の様子、授業で工夫されていることや幼稚園での取り組みを話し合うことができ、改めて幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿について考えることができた。連携、接続の取り組みを小学校の先生と協力して考えていくことが大切。引継ぎや学校訪問だけでなく小学校の研究授業に参加したり保育を見てもらう幼小の連携・つながりが大切。  
 「2021年度発達障害者地域支援機能強化研修」  
 診断名が同じでも個々に異なっている。又、合併している自分たちの判断は難しく、どういう支援がその子に合っているのか専門の方からのアドバイスやサポートが重要。家庭でのサポートの仕方、親と連携できたら良い。いろいろな研修を受け先生たちも学び自信をつけていっています。みんな前向きでもっと知りたい、自分のクラスの子とどのように関わっていったらいいのか迷いがあったのが分かりました。教育保育の更なる質向上につながる研修の機会を創出していく。
- ・食育…自園での給食が始まり、おいしくいただいています。  
 配膳体験等（長）も取り入れています。毎月1回河北食品の栄養士、調理員と当園の教頭、担当事務員とで給食会議を開き、おいしい物が提供できる様に意見を言い工夫してもらっています。
- ・まつこタイム…年5回予定（内コロナで2回中止） 1回50名、少人数で  
 ①広場で遊ぼう  
 東松江緑地で遊ぶ、パラバルーン、体を動かすストレッチ  
 ②野菜スタンプ  
 スタンプは小さい乳児や年少も楽しんでいたのが大人まで楽しめる内容だった。  
 ③みかん狩り森農園
- ・歌おう会…お母さんたちが歌をクリスマス会、お別れ会にマスクして人数制限をして歌い子どもたちを楽しませてくれた。

3 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況と経年比較

	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度	平成29年度
固定資産	814,447,193	755,421,791	751,731,862	582,828,389	648,996,693
流動資産	107,865,597	140,953,927	257,150,350	154,553,085	61,376,614
資産部の合計	922,312,790	896,375,718	1,008,882,212	737,381,474	710,373,307
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	4,056,201	6,598,551	142,890,522	11,624,199	8,143,508
負債の部合計	4,056,201	6,598,551	142,890,522	11,624,199	8,143,508
基本金	993,873,931	968,160,571	945,801,459	673,179,618	679,040,786
繰越収支差額	△ 75,617,342	△ 78,383,404	△ 79,809,769	52,577,657	23,189,013
純資産の部合計	918,256,589	889,777,167	865,991,690	725,757,275	702,229,799
負債及び純資産の部合計	910,480,525	922,312,790	896,375,718	1,008,882,212	737,381,474

② 資金収支計算書関係

収入の部	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度	平成29年度
学生生徒等納付金収入	13,960,990	16,249,010	72,042,360	49,279,650	50,120,250
手数料収入	93,000	97,000	131,000	149,000	114,000
寄付金収入	481,000	712,710	588,000	530,000	724,000
補助金収入	238,657,715	227,490,284	222,344,602	58,627,300	102,980,300
資産売却収入	167,940	10,824	0	0	650,540
付随事業・収益事業収入	27,213,176	6,453,969	7,240,982	6,396,175	6,433,638
受取利息・配当金収入	1,452	204,740	7,902	7,827	23,613
雑収入	2,349,211	3,520,765	1,549,163	10,795,342	6,092,416
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	52,731,388	270,859,052	216,583,275	194,106,534	102,522,584
資金収入調整勘定	△ 13,609,830	△ 9,092,850	△ 138,925,990	△ 52,060,700	△ 4,478,425
前年度繰越支払資金	126,761,372	118,136,819	102,011,343	56,004,826	65,122,005
収入の部合計	448,807,414	634,642,323	483,572,637	421,780,354	330,304,921

支出の部	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度	平成29年度
人件費支出	151,080,612	140,860,733	97,100,080	111,052,060	100,459,538
経費支出	83,470,306	69,686,152	54,618,965	48,253,369	53,492,654
借入金当利息支出	0	0	0	0	0
借入金当返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	22,215,747	20,370,255	271,572,400	63,561,600	0
設備関係支出	6,702,423	8,621,781	4,276,786	1,162,058	6,032,558
資産運用支出	50,001,376	56,104,833	4,836	4,827	20,005,598
その他支出	48,496,275	217,361,848	80,783,953	107,103,040	102,393,701
資金支出調整勘定	△ 3,718,068	△ 5,124,651	△ 142,921,202	△ 11,367,943	△ 8,083,954
翌年度繰越支払資金	90,558,748	126,761,372	118,136,819	102,011,343	56,004,826
支出の部合計	448,807,414	634,642,323	483,572,637	421,780,354	330,304,921

③ 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目		令和3年度	令和2年度	令和1年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	13,960,990	16,249,010	72,042,360
	手数料	93,000	97,000	131,000
	寄付金	481,000	712,710	588,000
	経常費等補助金	238,657,715	227,490,284	91,242,602
	付随事業収入	27,213,176	6,453,969	7,240,982
	雑収入	2,349,211	3,520,765	1,549,163
	教育活動収入計	282,755,092	254,523,738	172,794,107
	事業活動支出の部			
	人件費支出	151,080,612	140,860,733	97,100,080
	経費支出	103,364,447	85,750,146	666,569,503
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	254,445,059	226,610,879	163,669,583
	教育活動収支差額	28,310,033	27,912,859	9,124,524
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	1,452	204,740	7,902
	その他教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	1,452	204,740	7,902
	事業活動支出の部			
	借入金当利息	0	0	0
	その他教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	1,453	204,740	7,902	
経常収支差額		28,311,485	28,117,599	9,132,426
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	167,939	0	0
	その他特別収入	0	0	131,102,000
	特別収入計	167,939	0	131,102,000
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	2	4,332,122	11
	その他特別支出	0	0	0
	特別支出計	2	4,332,122	11
特別収支差額	167,937	△ 4,332,122	131,101,989	
基本金組入前当年度収支差額		28,479,422	23,785,477	140,234,415
基本金組入額合計		△ 25,713,360	△ 25,017,357	△ 272,621,841
当年度収支差額		2,766,062	△ 1,231,880	△ 132,387,426
前年度繰越収支差額		△ 78,383,404	△ 79,809,769	52,577,657
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 75,617,342	△ 81,041,649	△ 79,809,769

(参考)

事業活動収入計	282,924,483	254,728,478	32,618,991
事業活動支出計	254,445,061	230,943,001	12,063,406

#### 4 今後の課題

- ・幼稚園の部1号の園児が少子化で徐々に減ってきています。保育の部2号は逆に増えています。来年は未入園児「まつっこキッズ」「まつっこベビー」の教室を開催して園児獲得につなげたい。
- ・保護者の不満の声をなるべくなくす。